**「正しく鉛筆もてますか？」**

正しく鉛筆やペンをもてますか？

今まで、あまり意識してこなかったかもしれませんね。

しかし、正しい姿勢で正しく鉛筆を持つ事がきれいな文字を書くためには一番大切な事なのです。

まず、正しく持つメリットは、きれいな文字が書ける事はもちろんですが、姿勢が良くなる事、そして長時間書いても疲れない事、そして何より集中出来るという事です。

間違えた持ち方ですと、疲れてしまうだけでなく、姿勢も悪くなってしまうのです。

今から大人が直すのはかなり大変ですが、これから文字を書く機会が増える子ども達には、しっかりと持ち方をマスターしてほしいですね。

でも、親指、人差し指、中指で鉛筆を支えて文字を書くのは、意外に難しいもの。

最初は、三角鉛筆を使うと持ちやすいですよ。

３面に３本の指がしっかりフィットするので、子ども達も持ち方のフォームを理解しやすいです。

また、お絵かきを始めた乳児の頃から、写真の「ベビーコロール」というクレパスを使うと、３本の指で上から全体を持つので、鉛筆の持ち方に自然と移行できます。

しっかりと握って動かす事で、手や指先の力も鍛えられ、力強い線も描く事が出来るようになります。

文字は練習すれば上達しますが、鉛筆の持ち方は一度くせがついてしまうと、そのまま身についてしまって

なかなか直す事が出来ません。

大五京では、幼児組から、ひらがなの読み、そして正しい鉛筆の持ち方で書き方を文字指導として、取り入れています。

幼児の時期から正しい持ち方が出来ると良いですね。

　